

(様式第7)

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）事後評価書

令和 2 年 3 月 3 1 日

計画の名称	54. 交流・物流拠点アクセス道路整備				重点計画の該当	
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）		交付団体	八代市、玉名市、合志市、南関町、菊陽町、益城町		
計画の目標						

九州の南北の九州域内あるいは他地域との時間距離が大幅に時間短縮された九州新幹線開業（H23.3開業）効果を最大限に発揮し、駅へのアクセス向上や全国でも有数の地下水が豊富な地域による企業立地などを相互に連携する工業団地アクセス道路の整備等、物流や広域交通の活性化を図る。

計画の成果目標（アウトカム指標）

- ① 新幹線アクセス道路の整備効果において、新幹線利用客数の増加割合が637万人(H25)から670万人(H29)に増加。
- ② 拠点アクセス道路の整備効果に伴い、道路利用率の割合を44%(H25)から83%(H29)に増加。

アウトカム指標の定義及び算定式		アウトカム指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
①新幹線利用客数の増加割合＝（評価時点の新幹線利用客数－H24の年間新幹線利用客数）/（H24年間新幹線利用客数）		637万人/年	653万人/年	670万人/年	
②拠点アクセス道路の道路利用率＝Σ（改良済み延長×交通量）/Σ（整備区間延長×交通量）×100		44.0%	63.0%	83.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,121.8 百万円	A	5,121.8 百万円	B	0.0 百万円	C	0.0 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 (C+D) / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------------	---	----------------	---	------------	---	------------	---	------------	---------------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
熊本県土木部により評価を実施	交付期間終了（予算執行完了）後 公表の方法 熊本県ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業													全体事業費 (百万円)	費用便益 比	備考					
A 地方道路整備事業																				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）								
												H25	H26	H27	H28	H29				
54-A1-1	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(2) 竜西幹1号線（竜西工区）	現道拡幅 L= 0.1 km	八代市						73.0			
54-A1-2	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(1) 北吉扇ノ江線（千丁町工区）	現道拡幅 L= 1.1 km	八代市						40.0			
54-A1-3	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(他) 下有佐南北線（鏡町工区）	現道拡幅 L= 0.9 km	八代市						197.0			
54-A1-4	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(1) 野津橋小路長溝線（鏡町工区）	現道拡幅 L= 0.22 km	八代市						253.0			
54-A1-5	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(2) 新牟田西牟田線（千丁町工区）	現道拡幅 L= 1.2 km	八代市						420.0			
54-A1-6	道路	一般	玉名市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(1) 岱明玉名線（野口2工区）	新設・バイパス L= 1.10 km	玉名市						2,663.0			
54-A1-7	道路	一般	合志市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(他) 福原・原水線（福原工区）	新設・バイパス L= 1.60km	合志市						293.2			
54-A1-8	道路	一般	八代市	直接	—	市町村道	改築	0.55	(1) 関村・田原線（1工区）	新設・バイパス L= 1.10 km	南関町						336.0			
54-A1-9	道路	一般	菊陽町	直接	—	市町村道	改築	0.55	(他) 南方大人足線（原水工区）	現道拡幅 L= 0.75 km	菊陽町						175.4			
54-A1-10	道路	一般	益城町	直接	—	市町村道	改築	0.55	(他) テクノ工業団地線（平田工区）	現道拡幅 L= 2.1 km	益城町						671.2			
												合計					5,121.8			
B 関連社会資本整備事業													事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益 比	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H25	H26	H27	H28	H29					
												合計					0.0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地積整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況												
・ 現道拡整備等を行った結果、交通の円滑化が図られ、九州新幹線発着駅や工業団地へのアクセス強化に寄与した。												
II 定量的指標の達成状況		指標①(新幹線利用客数の増加割合)	最終目標値	670万人/年	目標値と実績値に差が出た要因	H28に発生した熊本地震の影響があったと思われるものの、全国的なインバウンド需要の高まりにより目標値を上回ることができた。						
			最終実績値	673万人/年								
		指標②(拠点アクセス道路の道路利用率)	最終目標値	83.0%	目標値と実績値に差が出た要因	H28に発生した熊本地震の影響により、目標達成できなかった。						
			最終実績値	57.5%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)												
3. 特記事項(今後の方針等)												
・ 今後とも、物流や広域交通活性化のための道路整備を進めていく。												